

教科・科目	保健体育・体育（女子）（必履修）		単位数 2 単位	履修学年 1 年
目標	運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。			
使用教材	現代高等保健体育 改訂版（大修館書店）			
評価の観点・評価規準	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	運動の技能	知識・理解
	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、公正、協力、責任、参画などに対する意欲をもち、健康・安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。	生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫している。また、自己や仲間の状況に応じて体力を高めるための運動を継続するための計画を工夫している。	運動の合理的な実践を通して、運動の特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現したりするための各領域の運動の特性に応じた段階的な技能を身に付けている。	選択した運動の技術（技）の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法、スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴、運動やスポーツの効果的な学習の仕方及び豊かなスポーツライフの設計の仕方を理解している。
評価方法	評価の観点に基づき、日々の授業や実技スキルテスト等を参考にし、総合的に評価する。			
学期	学習内容		学習のねらい	
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーション 集団行動</li> <li>・体づくり運動（新体力テスト）</li> <li>・球技（バレーボール）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育に対する考え方及び、集団行動の重要性を学習集団の中の一員であることを認識し、規律正しい行動を身につけ、連帯感を高める。</li> <li>・運動技能を構造的に理解できるようにし、自己の能力に応じて運動に親しむための学び方を理解する。</li> <li>・自己の体に関心を持ち、体ほぐしや体力を高めるための運動を生活の中で実践できるようにする。</li> <li>・自己の能力や適正を把握し、今後の活動に活用する。</li> <li>・基礎的技術を習得し、種目の楽しさを味わいながらゲームがスムーズに展開できるようにする。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育理論（人間にとって動くとは何か・スポーツの始まりと変遷）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツの始まりと変遷、近代スポーツから国際スポーツへと発展した流れについて理解し、説明することができる。</li> </ul>	
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体づくり運動</li> <li>・陸上競技（短・中距離走）</li> <li>・器械運動（マット）</li> <li>・球技（バスケットボール・バレーボールより選択）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の体に関心を持ち、体ほぐしや体力を高めるための運動を生活の中で実践できるようにする。</li> <li>・設定された目標に到達できるよう、自己の能力に応じた練習を工夫する。</li> <li>・自己の能力に応じて運動の技能を高め、技、演技が円滑にできるようにする。</li> <li>・個人やチームの能力に応じて作戦を立て、持っている技能を最大限に活用してゲームを行う。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育理論（文化としてのスポーツ・オリンピックと国際理解）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリンピックムーブメントについて理解し、オリンピックがどう変貌してきたかについて説明することができる。</li> </ul>	
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体づくり運動</li> <li>・球技（バスケットボール・卓球・バドミントンより選択）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の体に関心を持ち、体ほぐしや体力を高めるための運動を生活の中で実践できるようにする。</li> <li>・個人やチームの能力に応じて作戦を立て、持っている技能を最大限に活用してゲームを行う。</li> <li>・自己の能力に応じて運動の技能を高め、競技したり、ゲームを楽しんだりできるようにする。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育理論（スポーツと経済・ドーピングとスポーツ理論）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドーピングが及ぼす社会全体への悪影響、スポーツ倫理が求められる理由について理解し、説明することができる。</li> </ul>	
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校指定の体操服を正しく着用し、一人一人が健康と安全に気をつける。</li> <li>・積極的に参加し、自主性・協調性を高める。</li> <li>・運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうとともに、社会的態度を身につける。</li> </ul>			

教科・科目	保健体育・体育（男子）（必修）		単位数 2 単位	履修学年 2 年
目標	運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。			
使用教材	現代高等保健体育（大修館書店）			
評価の観点・評価規準	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	運動の技能	知識・理解
	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、公正、協力、責任、参画などに対する意欲をもち、健康・安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。	生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫している。また、自己や仲間の状況に応じて体力を高めるための運動を継続するための計画を工夫している。	運動の合理的な実践を通して、運動の特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現したりするための各領域の運動の特性に応じた段階的な技能を身に付けている。	選択した運動の技術（技）の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法、スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴、運動やスポーツの効果的な学習の仕方及び豊かなスポーツライフの設計の仕方を理解している。
評価方法	評価の観点に基づき、日々の授業や実技スキルテスト等を参考にし、総合的に評価する。			
学期	学習内容		学習のねらい	
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーション 集団行動</li> <li>・体づくり運動（新体力テスト）</li> <li>・球技（バレーボール）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育に対する考え及び、集団行動の重要性を学習集団の中の一員であることを認識し、規律正しい行動を身につけ、連帯感を高める。</li> <li>・運動技能を構造的に理解できるようにし、自己の能力に応じて運動に親しむための学び方を理解する。</li> <li>・自己の体に関心を持ち、体ほぐしや体力を高めるための運動を生活の中で実践できるようにする。</li> <li>・自己の能力や適正を把握し、今後の活動に活用する。</li> <li>・集団技能や個人技能を活用し、チームごとに作戦を立て、ゲームを行う。</li> </ul>	
	・体育理論（スポーツの技術と技能・技能の上達過程と練習）		・スポーツにおける技能の上達段階を理解し、技能の上達過程の効果的な練習法について説明することができる。	
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体づくり運動</li> <li>・陸上競技（短・中距離走）</li> <li>・器械運動（跳び箱）</li> <li>・球技（バスケットボール）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の体に関心を持ち、体ほぐしや体力を高めるための運動を生活の中で実践できるようにする。</li> <li>・設定された目標に到達できるよう、自己の能力に応じた練習を工夫する。</li> <li>・自己の能力に応じて運動の技能を高め、技が円滑にできるようにする。</li> <li>・個人やチームの能力に応じて作戦を立て、持っている技能を最大限に活用してゲームを行う。</li> </ul>	
	・体育理論（効果的な動きのメカニズム・技能と体力）		・動きの開始と持続についてのメカニズム、筋活動のコントロールと状況判断について理解し、説明することができる。	
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体づくり運動</li> <li>・陸上競技（持久走）</li> <li>・球技（サッカー）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の体に関心を持ち、体ほぐしや体力を高めるための運動を生活の中で実践できるようにする。</li> <li>・自己の能力に応じて運動の技能を高め、競技したり、記録を高めたりすることができるようにする。</li> <li>・集団技能や個人技能を活用し、チームごとに作戦を立てて、ゲームを行う。</li> </ul>	
	・体育理論（体力トレーニング・運動やスポーツでの安全の確保）		・体力トレーニングを支える基礎理論、スポーツのけがの実態や自然環境の変化に伴う危険性を理解、説明できる。	
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校指定の体操服を正しく着用し、一人一人が健康と安全に気をつける。</li> <li>・積極的に参加し、自主性・協調性を高める。</li> <li>・運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうとともに、社会的態度を身につける。</li> </ul>			

教科・科目	保健体育・体育（女子）（必履修）		単位数	2	単位	履修学年	2	年
目標	運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。							
使用教材	現代高等保健体育（大修館書店）							
評価の観点・評価規準	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	運動の技能		知識・理解			
	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、公正、協力、責任、参画などに対する意欲をもち、健康・安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。	生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫している。また、自己や仲間の状況に応じて体力を高めるための運動を継続するための計画を工夫している。	運動の合理的な実践を通して、運動の特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現したりするための各領域の運動の特性に応じた段階的な技能を身に付けている。		選択した運動の技術（技）の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法、スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴、運動やスポーツの効果的な学習の仕方及び豊かなスポーツライフの設計の仕方を理解している。			
評価方法	評価の観点に基づき、日々の授業や実技スキルテスト等を参考にし、総合的に評価する。							
学期	学習内容				学習のねらい			
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーション 集団行動</li> <li>・体づくり運動（新体力テスト）</li> <li>・球技（バレーボール）</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育に対する考え方や、集団行動の重要性を学習集団の中の一員であることを認識し、規律正しい行動を身につけ、連帯感を高める。</li> <li>・運動技能を構造的に理解できるようにし、自己の能力に応じて運動に親しむための学び方を理解する。</li> <li>・自己の体に関心を持ち、体ほぐしや体力を高めるための運動を生活の中で実践できるようにする。</li> <li>・自己の能力や適正を把握し、今後の活動に活用する。</li> <li>・集団技能や個人技能を活用し、チームごとに作戦を立て、ゲームを行う。</li> </ul>			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育理論（スポーツの技術と技能・技能の上達過程と練習）</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツにおける技能の上達段階を理解し、技能の上達過程の効果的な練習法について説明することができる。</li> </ul>			
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体づくり運動</li> <li>陸上競技（短・中距離走）</li> <li>・器械運動（跳び箱）</li> <li>・ダンス</li> <li>・球技（バドミントン）</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の体に関心を持ち、体ほぐしや体力を高めるための運動を生活の中で実践できるようにする。</li> <li>・設定された目標に到達できるよう、自己の能力に応じた練習を工夫する。</li> <li>・自己の能力に応じて運動の技能を高め、技が円滑にできるようにする。</li> <li>・自分の感性が現れるように即興表現をしたり、感じを込めて踊る。</li> <li>・ダブルスの技術を習得し、ゲームがスムーズに展開できるようにする。</li> </ul>			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育理論（効果的な動きのメカニズム・技能と体力）</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・動きの開始と持続についてのメカニズム、筋活動のコントロールと状況判断について理解し、説明することができる。</li> </ul>			
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体づくり運動</li> <li>陸上競技（持久走）</li> <li>・ダンス</li> <li>・球技（バスケットボール）</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の体に関心を持ち、体ほぐしや体力を高めるための運動を生活の中で実践できるようにする。</li> <li>・自己の能力に応じて運動の技能を高め、競技したり、記録を高めたりすることができるようにする。</li> <li>・グループや自己の役割を設定し、仲間と楽しく踊る。</li> <li>・集団技能や個人技能を活用し、チームごとに作戦を立てて、ゲームを行う。</li> </ul>			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育理論（体力トレーニング・運動やスポーツでの安全の確保）</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・体力トレーニングを支える基礎理論、スポーツのけがの実態や自然環境の変化に伴う危険性を理解、説明できる。</li> </ul>			
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校指定の体操服を正しく着用し、一人一人が健康と安全に気をつける。</li> <li>・積極的に参加し、自主性・協調性を高める。</li> <li>・運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうとともに、社会的態度を身につける。</li> </ul>							

教科・科目	保健体育・体育（男子）（必修）	単位数	3	単位	履修学年	3	年
目標	運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。						
使用教材	現代保健体育（大修館書店）						
評価の観点・評価基準	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	運動の技能		知識・理解		
	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、公正、協力、責任、参画などに対する意欲をもち、健康・安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。	生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫している。また、自己や仲間の状況に応じて体力を高めるための運動を継続するための計画を工夫している。	運動の合理的な実践を通して、運動の特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現したりするための各領域の運動の特性に応じた段階的な技能を身に付けている。		選択した運動の技術（技）の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法、スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴、運動やスポーツの効果的な学習の仕方及び豊かなスポーツライフの設計の仕方を理解している。		
評価方法	評価の観点に基づき、日々の授業や実技スキルテスト等を参考にし、総合的に評価する。						
学期	学習内容			学習のねらい			
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーション 集団行動</li> <li>・体づくり運動（新体力テスト）</li> <li>・球技（ソフトボール）</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育に対する考え方及び、集団行動の重要性を学習集団の中の一員であることを認識し、規律正しい行動を身につけ、連帯感を高める。</li> <li>・運動技能を構造的に理解できるようにし、自己の能力に応じて運動に親しむための学び方を理解する。</li> <li>・自己の体に関心を持ち、体ほぐしや体力を高めるための運動を生活の中で実践できるようにする。</li> <li>・自己の能力や適正を把握し、今後の活動に活用する。</li> </ul>			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育理論（生涯スポーツの見方、考え方・ライフスタイルにおうじたスポーツ）</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会の変化に伴うスポーツの楽しみ方を理解し、ライフステージに対応した楽しみ方について説明することができる。</li> </ul>			
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体づくり運動</li> <li>・陸上競技（短・中距離走）</li> <li>・球技（ソフトボール） （サッカー） （卓球） （バドミントン） （バレー）</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の体に関心を持ち、体ほぐしや体力を高めるための運動を生活の中で実践できるようにする。</li> <li>・設定された目標に到達できるよう、自己の能力に応じた練習を工夫する。</li> <li>・自ら選んだ種目で自ら課題を設定し、考え行動させる。そしてその課題を解決していく能力を身につけさせることで、生涯にわたって健康の保持増進（ヘルスプロモーション）のための、自主管理能力を身につけさせる。</li> </ul>			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育理論（日本のスポーツ振興）</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本のスポーツ振興の流れや、地域におけるスポーツクラブの状況について理解し、説明することができる。</li> </ul>			
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体づくり運動</li> <li>球技（ソフトボール） （サッカー） （卓球） （バドミントン）</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の体に関心を持ち、体ほぐしや体力を高めるための運動を生活の中で実践できるようにする。</li> <li>・自ら選んだ種目で自ら課題を設定し、考え行動させる。そしてその課題を解決していく能力を身につけさせることで、生涯にわたって健康の保持増進（ヘルスプロモーション）のための、自主管理能力を身につけさせる。</li> </ul>			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育理論（スポーツと環境）</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツと環境問題について、スポーツで環境を保護するために私たちができることについて説明することができる。</li> </ul>			
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校指定の体操服を正しく着用し、一人一人が健康と安全に気をつける。</li> <li>・積極的に参加し、自主性・協調性を高める。</li> <li>・運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうとともに、社会的態度を身につける。</li> </ul>						

教科・科目	保健体育・体育（女子）（必履修）		単位数	3	単位	履修学年	3	年
目標	運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。							
使用教材	現代保健体育（大修館書店）							
評価の観点・評価規準	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	運動の技能	知識・理解				
	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、公正、協力、責任、参画などに対する意欲をもち、健康・安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。	生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫している。また、自己や仲間の状況に応じて体力を高めるための運動を継続するための計画を工夫している。	運動の合理的な実践を通して、運動の特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現したりするための各領域の運動の特性に応じた段階的な技能を身に付けている。	選択した運動の技術（技）の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法、スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴、運動やスポーツの効果的な学習の仕方及び豊かなスポーツライフの設計の仕方を理解している。				
評価方法	評価の観点に基づき、日々の授業や実技スキルテスト等を参考にし、総合的に評価する。							
学期	学習内容			学習のねらい				
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーション 集団行動</li> <li>・体づくり運動（新体力テスト）</li> <li>・球技（ティーボール）</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育に対する考え方及び、集団行動の重要性を学習集団の中の一員であることを認識し、規律正しい行動を身につけ、連帯感を高める。</li> <li>・運動技能を構造的に理解できるようにし、自己の能力に応じて運動に親しむための学び方を理解する。</li> <li>・自己の体に関心を持ち、体ほぐしや体力を高めるための運動を生活の中で実践できるようにする。</li> <li>・自己の能力や適正を把握し、今後の活動に活用する。</li> <li>・チームごとに設定された課題への練習の工夫及び、生涯スポーツに対する意識の向上を図る。</li> </ul>				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育理論（生涯スポーツの見方、考え方・ライフスタイルにおうじたスポーツ）</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会の変化に伴うスポーツの楽しみ方を理解し、ライフステージに対応した楽しみ方について説明することができる。</li> </ul>				
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体づくり運動</li> <li>・陸上競技（短・中距離走）</li> <li>・球技（ティーボール） （バレーボール） （卓球） （バドミントン） （バスケットボール）</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の体に関心を持ち、体ほぐしや体力を高めるための運動を生活の中で実践できるようにする。</li> <li>・設定された目標に到達できるよう、自己の能力に応じた練習を工夫する。</li> <li>・自ら選んだ種目で自ら課題を設定し、考え行動させる。そしてその課題を解決していく能力を身につけさせることで、生涯にわたって健康の保持増進（ヘルスプロモーション）のための、自主管理能力を身につけさせる。</li> </ul>				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育理論（日本のスポーツ振興）</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本のスポーツ振興の流れや、地域におけるスポーツクラブの状況について理解し、説明することができる。</li> </ul>				
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体づくり運動</li> <li>・球技（ティーボール） （バレーボール） （卓球） （バドミントン） （バスケットボール）</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の体に関心を持ち、体ほぐしや体力を高めるための運動を生活の中で実践できるようにする。</li> <li>・自ら選んだ種目で自ら課題を設定し、考え行動させる。そしてその課題を解決していく能力を身につけさせることで、生涯にわたって健康の保持増進（ヘルスプロモーション）のための、自主管理能力を身につけさせる。</li> </ul>				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育理論（スポーツと環境）</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツと環境問題について、スポーツで環境を保護するために私たちができることについて説明することができる。</li> </ul>				
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校指定の体操服を正しく着用し、一人一人が健康と安全に気をつける。</li> <li>・積極的に参加し、自主性・協調性を高める。</li> <li>・運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうとともに、社会的態度を身につける。</li> </ul>							

教科・科目	保健体育・保健（必履修）		単位数	1 単位	履修学年	1 年
目標	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。					
使用教材	現代高等保健体育 改訂版（大修館書店）					
評価の観点・評価規準	関心・意欲・態度	思考・判断	知識・理解			
	現代社会と健康、生涯を通じる健康、社会生活と健康について関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとする。	現代社会と健康、生涯を通じる健康、社会生活と健康について、課題の解決を目指して総合的に考え、判断し、それらを表している。	現代社会と健康、生涯を通じる健康、社会生活と健康について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。			
評価方法	定期考査及び授業態度・ノート提出などで学習意欲を総合的に判断する。					
学期	学習内容			学習のねらい		
1	◎現代社会と健康 <ul style="list-style-type: none"> <li>私たちの健康のすがた</li> <li>健康のとらえかた</li> <li>健康と意思決定・行動選択</li> <li>健康に関する環境づくり</li> <li>生活習慣病とその予防</li> <li>食事と健康</li> <li>運動と健康</li> <li>休養・睡眠と健康</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>わが国における健康水準の変化、わが国における健康問題の変化について理解し、説明することができる。</li> <li>健康についての多様な考え方、健康の成り立ちとその要因について理解し、説明することができる。</li> <li>意志決定・行動選択とそれに影響を与える要因、健康的な意志決定・行動選択を実現する工夫について理解し、説明することができる。</li> <li>健康づくりを支える環境、ヘルスプロモーションの考え方にもとづく環境づくりについて理解し、説明することができる。</li> <li>生活習慣病について呼称の由来や病例を説明することができ、また、生活習慣病の予防について理解し、説明することができる。</li> </ul>		
2	◎現代社会と健康 <ul style="list-style-type: none"> <li>喫煙と健康</li> <li>薬物乱用と健康</li> <li>現代の感染症</li> <li>感染症の予防</li> <li>性感染症・エイズとその予防</li> <li>欲求と適応規制</li> <li>心身の相関とストレス</li> <li>ストレスへの対処</li> <li>心の健康と自己実現</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>喫煙の健康影響、喫煙開始の要因と依存性、喫煙に対する日本や世界の対策について理解し、説明することができる。</li> <li>飲酒による健康へ影響と社会問題、および飲酒の健康被害を防ぐ対策について理解し、説明することができる。</li> <li>薬物乱用や薬物依存による健康への影響や健康被害を防ぐさまざまな対策について理解し、説明することができる。</li> <li>新たに注目される感染症や再び問題となっている感染症について予防と対策を理解し、説明することができる。</li> <li>心身相関のしくみとストレスの原因、ストレスの影響と心の健康について理解し、説明することができる。</li> <li>ストレスの原因へのさまざまな対処法について理解し、説明することができる。</li> </ul>		
3	◎現代社会と健康 <ul style="list-style-type: none"> <li>交通事故の現状と要因</li> <li>交通社会における運転者の資質と責任</li> <li>安全な交通社会づくり</li> <li>応急手当の意義とその基本</li> <li>心肺蘇生法</li> <li>日常的な応急手当</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>交通事故の現状とその要因について理解し、説明することができる。</li> <li>安全な運転のための資質、交通事故の責任と補償について理解し、説明することができる。</li> <li>安全な交通社会づくりのための法的な整備と施設・設備の充実、車の安全性の向上について理解し、説明することができる。</li> <li>心肺蘇生法の原理と意義、心肺蘇生法の各手順について理解し、説明することができる。</li> <li>けがの応急手当、熱中症の応急手当について理解し、説明することができる。</li> </ul>		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>自ら学び実践する力を身につける。</li> <li>生涯を通じて、自らの健康を適切に管理し、改善していく能力を養う。</li> <li>社会生活とのかかわりを含めた総合的な理解を深め、社会的態度を身につける。</li> </ul>					

教科・科目	保健体育・保健（必修）	単位数	1 単位	履修学年	2 年
目標	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。				
使用教材	現代高等保健体育（大修館書店）				
評価の観点・評価規準	関心・意欲・態度	思考・判断	知識・理解		
	現代社会と健康、生涯を通じる健康、社会生活と健康について関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとする。	現代社会と健康、生涯を通じる健康、社会生活と健康について、課題の解決を目指して総合的に考え、判断し、それらを表している。	現代社会と健康、生涯を通じる健康、社会生活と健康について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。		
評価方法	定期考査及び授業態度・ノート提出などで学習意欲を総合的に判断する。				
学期	学習内容	学習のねらい			
1	◎生涯を通じる健康 <ul style="list-style-type: none"> <li>・思春期と健康</li> <li>・性意識と性行動の選択</li> <li>・結婚生活と健康</li> <li>・妊娠・出産と健康</li> <li>・家族計画と人工妊娠中絶</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・性に関する正しい情報を学び、自分の意思と判断で適切な行動ができるよう考えていく。</li> <li>・妊娠中や出産後の健康管理の重要性や配慮すべきことに理解を深めるとともに、望まない妊娠をしないように、正しい行動選択ができるよう考えていく。</li> </ul>			
2	◎生涯を通じる健康 <ul style="list-style-type: none"> <li>・加齢と健康</li> <li>・高齢者のための社会的とりくみ</li> <li>・保健制度とその活用</li> <li>・医療制度とその活用</li> <li>・医薬品と健康</li> <li>・さまざまな保健活動や対策</li> </ul> ◎社会生活と健康 <ul style="list-style-type: none"> <li>・大気汚染と健康</li> <li>・水質汚濁・土壌汚染と健康</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯にわたって健康を保持増進するために、各段階に応じた健康管理をおこなう必要があることを理解し考えていく。</li> <li>・わたしたちのまわりの環境が汚染されると、わたしたちの健康におよぶ影響が大きいことを理解し、それを守るとりくみ等について考えていく。</li> </ul>			
3	◎社会生活と健康 <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康被害の防止と環境対策</li> <li>・環境衛生活動のしくみとはたらき</li> <li>・食品衛生活動のしくみとはたらき</li> <li>・食品と環境の保健と私たち</li> <li>・働くことと健康</li> <li>・労働災害と健康</li> <li>・健康的な職業生活</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食品にかかわっての保健活動について理解し考えていく。</li> <li>・職業病・労働災害について理解し、職場での安全管理や健康づくりの方法等について考えていく。</li> </ul>			
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら学び実践する力を身につける。</li> <li>・生涯を通じて、自らの健康を適切に管理し、改善していく能力を養う。</li> <li>・社会生活とのかかわりを含めた総合的な理解を深め、社会的態度を身につける。</li> </ul>				